

親子で楽しく成長できる場所 ここにあります！



鹿屋子ども劇場

「鹿屋子ども劇場」はプロの劇団による人形劇やお芝居を観る「鑑賞活動」と、キャンプや遊び会などの「自主活動」を行う親子グループ。生の舞台や様々な体験を通して、心豊かな子どもに育てて欲しいとの想いから昭和63年に誕生しました。会員は約100人。一人で楽しむのではなく仲間と共有することで、楽しさが増し心身の成長につながるそうです。また、子どもだけでなく親同士が交流を深められるのも魅力のひとつで、はじけるような笑顔がとても印象的なグループです。運営委員長の^{おおつかちほみ}大塚千穂弥さんは「子どもたちが成長していく姿を見られるのがうれしい。この活動をもっと多くの人に知ってもらいたい」と、にこやかに話しました。



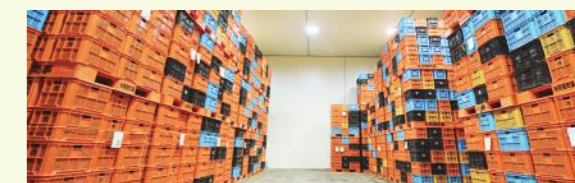
11月12日（月）19時から開催の人形劇は、小学4年生以上であれば会員以外でも鑑賞可能。

CONTENTS / 目次

広報かのや No.308 November 2018

- 04 特集
農でチャレンジ！
- 08 温故写新／カノヤタイムトラベル
- 09 夢のかけはし「彌榮 郡さん」
- 10 みんなの Hot News
- 12 出航。株式会社おおすみ観光未来会議
- 14 知っておきたい「ふるさと納税」のこと
- 16 保育士さんたちの就職を支援します！
- 17 かのや「ばら」と「海」
フォトコンテスト 2018
- 18 知って役立つ情報掲示板
- 22 すこやか直幸便／
休日救急当番医・歯科休日急患在宅医
- 23 スゴいぞ！〇高／おしごとの時間
- 24 市民のひろば
- 25 みんなのフォトネタ
- 26 かのやんよかもん
- 28 プレゼント・映画情報

今月のカバー



美しく積み上げられた農業用「コンテナ」

サツマイモを生産する企業の大きな貯蔵庫。中に入ると、4色の「コンテナ」が規則正しく積み上げられていました。コンテナの中に入っているのは、甘くておいしい「かのや紅はるか」。美しく整理整頓された室内で出荷の待ちながら、みんなに食べてもらえるその日を夢見ているようでした。